※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『詳説　日本史探究』　（山川出版社）						
副教材等	『日本史探究　マイノート』（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した歴史総合は近現代を範囲としたが、日本史探究は古代史からの学習となる。
- 資料等を分析し、時代ごとの特徴をまとめる。
- 時代ごとに、政治機構、地域社会、人々の暮らしが変遷していくが、その成り立ちについて学び、時代の特徴をまとめる。
- それぞれの時代の内容を多角的に分析し、考察する。

２　学習の到達目標

それぞれの時代の社会的事象について、様々な観点で考察することで、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って各事象をとらえることができる資質や能力を育成することを目指す。また、「日本史」を通じて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者として必要な資質・能力を育成することを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の諸事情について、様々な要因や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の事象や伝統・文化について、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想した事柄を説明・表現する力を養う。	我が国の歴史の諸事情について、現代とつなげて考え、主体的に探究しようとしている。また我が国の歴史を他者に紹介できるようになる。また、他国の文化を尊重する大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　原始・古代	1. 日本文化のあけぼの ・文化のはじまり ・農耕社会の成立	a:旧石器時代～弥生時代の歴史について、その特徴や性質に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:旧石器時代～弥生時代の歴史について、遺跡の情報や中国の歴史書の文献資料にもとづき、多角的に考察した内容を、根拠を示して表現している。 c:旧石器時代～弥生時代の歴史について、当時の人々の暮らしや国家の成り立ちを考察することを通じて、特色を明らかにしようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		2. 古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	a:ヤマト政権の形成や古墳の特色について、中国大陸や朝鮮半島の関係などに着目して理解している。 b:中国の歴史書の記事や古墳の出土品、仏教受容や遣隋使の派遣に関する資料をもとに多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古墳文化の展開や当時の政治や仏教の広まりについて主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		3. 律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化	a:律令にもとづいて行われた政治や、奈良時代の政治・文化について、その特色を理解している。 b:文献資料をもとに、土地制度の変遷や鎮護国家の思想について考察し、その結果を表現している。 c:奈良時代の政治・文化について、東アジアとの関係に着目して主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		4. 貴族政治の展開 ・律令国家の変容 ・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	a:平安時代の社会の変化や武士団の成長について、その特色を理解している。 b:摂関政治や国風文化、土地制度の変遷などについて多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、社会の特色を明らかにしようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
	第2部 中世	5. 院政と平氏政権 ・院政の始まり ・院政と平氏政権	a:院政の仕組みや平氏政権の台頭について、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 b:武士の台頭、武家政権の仕組みや土地支配について、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:古代との比較を通じて、中世社会の特色について追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		6. 武家社会の成立 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a:鎌倉時代の諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:鎌倉時代の政治、流通、外交、文化について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:鎌倉時代の武家政治の特徴について、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
2学期		7. 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	a:室町時代の諸制度や村の自治、戦国大名の登場について、諸資料を読み取り、情報を収集して理解している。 b:室町時代の政治、経済、村の自治、文化などを多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c:室町時代の諸制度について、現代と照らし合わせながら、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

	第3部　近世	8. 近世の幕開け ・織豊政権 ・桃山文化	a：織豊政権の特色や貿易・対外関係について、諸資料を読み取ることで理解している。 b:織豊政権の諸政策や海外とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：織豊政権の時代を通観する問いを表現しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		9. 幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	a：幕藩体制の支配構造や身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b:江戸時代の制度、文化等の諸制度を、資料を読み解くことで、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みについて主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		10. 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a：幕府の諸改革の内容やその影響について理解している。 b:幕府政治の動揺や諸藩の動向、一揆の発生について、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：幕府の諸改革の成果や一揆の発生の動向について、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
	第4部　近代	11. 近世から近代へ ・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足	a：欧米諸国の進出により、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 b：開国に伴う政治や経済、文化などの変化を多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：日本の開国を国際的な視点から考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		12. 近代国家の成立 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a：明治政府の諸政策と士族の反乱、自由民権運動の展開について、諸資料から情報を読み取って理解している。 b：諸制度の改革がもたらした社会構造の変化について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：明治維新がその後の時代にもたらした影響について主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
3学期		13. 近代国家の展開 ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a：3 つの戦争の動向やその後の日本の国際的な立場の変化について理解している。 b：戦争中の日本の動向を踏まえ、アジア近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：対外的な戦争が日本にもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		14. 近代の産業と生活 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大正文化	a：産業の発達の背景と影響や市民文化に関して、諸資料を読み解くことで当時の状況を理解している。 b：産業全般の変化がもたらされたことや、地域社会の変容について、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：産業の発展とそれによる社会問題への対応や、市民生活の動きについて、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		15. 恐慌と第二次世界大戦 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a：恐慌から戦争まで向かった要因について、諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 b：恐慌が発生した理由や、戦争に向かう日本の状況について、国際関係と照らし合わせながら、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：恐慌時の生活や、軍部の政治的台頭がもたらした影響について主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		16. 占領下の日本 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a：第二次世界大戦後の占領期の政治、経済体制の変化について、諸資料を読み取り理解している。 b：第二次世界大戦後の諸改革が、連合国の対日占領政策にもとづき実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：戦後の改革が、どのように社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追究している。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント
		17. 高度成長の時代 ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a：保守合同による自由民主党の成立から、経済成長による安定した保守政権の誕生に至る経緯について、諸資料から情報を読み取り、海外情勢を踏まえて理解している。 b：日本の経済成長につながった産業の状況や国連加盟などの外交事案がもたらした課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：55 年体制がその後の政治に与えた影響や、高度経済成長がもたらした国内の変化や国際的な日本の変化について、現在の日本と照らし合わせながら主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※令和４年度以降入学生用

		18. 激動する世界と日本 ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	a：ドル＝ショックや石油危機を乗り越え経済大国となった日本の状況を理解し、冷戦終結後から現在までの動向を体系的にとらえることができる。 b：日本が経済大国となった要因について、多面的・多角的に考察している。またその上で現在の日本が抱える課題についても多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c：高度経済成長後から現在に至るまでの日本のさまざまな取り組みについて、主体的に追究しようとしている。	ワークノート 定期考査	ワークノート 定期考査 プリント	ワークノート プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度